

じている遺伝子流動に関する研究についてポスター発表を行いました。英語力に不安があり発表前はとても緊張していましたが、当日は想定以上に多くの方がポスターを訪れてくださり、拙い英語にも丁寧に耳を傾けてくださいました。ホンダワラ類に詳しい方だけでなく、これまで馴染みのなかった方からも様々なご意見をいただき、遺伝子流動の結果を踏まえた分類学的な示唆も得られました。分類学的な課題には今後も継続して取り組み、結論をとりまとめられるように努めていきたいです。ポスター発表後も、自分のポスターを見ていた方に積極的に声をかけたのですが、英語力の不足により、ご質問くださった方々のお名前をお聞きすることができなかったことが心残りです。次の国際学会に参加する際には余裕をもって話せるように、英語学習が必要です。また、大型藻類分野のポスター発表賞として北海道大学水産科学院に所属している博士後期課程1年の Whelver Naldoza Surnido さんが受賞されました。おめでとうございます。

本大会では基調講演が4件、口頭発表が127件、ポスター発表が124件ありましたが、ホンダワラ属の海藻に関する発表は私のもの以外に6件のみでした（大会プログラムに基づいた集計）。その中でも、韓国のグループがヒジキ *Sargassum fusiforme* とウミトラノオ *Sargassum thunbergii* のゲノム情報を新たに解読し、生育環境への適応に関する遺伝的基盤につ

いて発表しておりました。ホンダワラ属ではゲノム情報がまだ十分ではありませんが、ゲノム解析を活用したアプローチの可能性を強く感じました。

発表以外でも、国際交流の面で貴重な経験を得ることができました。済州大学校の知人である Dr. Christophe William Vieira さんとは昼食などを一緒に、近況や学会での出来事、そして今後の研究について意見交換ができました。また、北海道大学水産科学院から参加したフィリピン出身の Whelver Naldoza Surnido さんの繋がりから現地学生との交流も広がりました。フィリピン大学ディリマン校の学生から現地の料理や文化について紹介していただき、日本の文化やアニメについても尋ねられ、相互に話が弾んで、日によっては夜遅くまで盛り上がる日もありました。

今回の国際学会への参加は、研究と国際交流の両面で非常に有意義なものとなりました。また、日常会話にとどまらず、英語で議論する力の必要性も強く感じました。次回の IPC の開催地は未定です。機会に恵まれれば国際学会に参加し、海外の研究者との交友関係を築いていきたいです。また、国内外の学会で演者として参加できるように日々の研究活動に励んでいきます。

（北海道大学大学院水産科学院）

自動会費納入

会員各位

会員管理事務の効率化と経費削減のため、自動振替による会費納入にご協力くださいますようお願い申し上げます。当面の間は引き落とし手数料（税別155円）を学会の負担とさせていただきます。また、自動振替をご利用の会員全員に領収書を発行させていただきます（送付は12月末の引き落とし後）。

事務手続き上、外国会員につきましては従来通りクレジットカードによる支払い、また学生会員につきましては郵便振替による振込みのみとさせていただきますので、ご了承ください。振替依頼文書をご希望の方は、下記事務局までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

庶務幹事（会員担当）

【お申し込み・お問い合わせ先】

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1

佐賀大学農学部内さが藻類産業研究開発センター

出村 幹英 宛

Tel 0952-37-6786

E-mail st8148@cc.saga-u.ac.jp